

第33回

社会言語科学大会

Program of the 33rd Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

2014/3/15-16

日時：2014年3月15日(土)/16日(日) 受付開始：9:30

場所：神田外語大学 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

交通：JR京葉線「海浜幕張駅」下車 徒歩約15分あるいはバス約5分（幕22系統）神田外語大学下車
 JR総武線「幕張本郷駅」/京成電鉄「幕張本郷駅」下車 バス約15分（幕21系統）神田外語大学下車あるいはバス約8分（幕22系統）神田外語大学下車
 JR総武線「幕張駅」下車 徒歩約20分
 京成電鉄「幕張駅」下車 徒歩約15分

参加費(大会論文集1冊込)：4,000円/会員 5,000円/非会員 3,000円/学生会員 4,000円/学生非会員〔事前申込み(割引)の期限等につきましてはホームページをご覧ください〕
 問い合わせ先：社会言語科学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp http://www.jass.ne.jp/another/?page_id=2

9:30-		3月15日(土)			
		受付〔4号館1階 玄関ホール〕			
10:00-10:30	口頭発表	<セッション1> [4号館3階 301教室] 司会：中東靖恵 (岡山大学) ・会話におけるミスコミュニケーションへの解釈的アプローチ 梅村弥生 (東京大学)	<セッション2> [4号館3階 302教室] 司会：多々良直弘 (桜美林大学) ・記述回答結果から見る県内高校生の地域の言葉の使用について 佐々木香代子 (琉球大学) 尚真貴子 (沖縄国際大学) 狩俣幸子 (琉球大学)	<セッション3> [2号館1階 101教室] 司会：森篤嗣 (帝塚山大学) ・歌の長さを決めるものは何か 梶丸岳 (日本学術振興会/国立民族学博物館)	<セッション4> [2号館2階 201教室] 司会：本田弘之 (北陸先端科学技術大学院大学) ・「ユカライリ」か「ウクレレ」か？ 古川敏明 (大妻女子大学)
10:35-11:05		・A Comparison of the Speech Acts of Japanese and English Speakers in Discussions 塚本亜美 (大阪大学)	・メキシコシティ日系コミュニティにおける方言接触 奥村晶子 (東京大学)	・パプアニューギニアのアメレ語は「時間」をどう使用するのか 野瀬昌彦 (滋賀大学)	・発表中止 (発表者の都合による辞退)
11:10-11:40		・非英語圏在住日本語母語話者の言語生活 平高史也 (慶應義塾大学)、木村護郎 (上智大学) 福田牧子 (バリエロ自治大学)、福田えり (慶應義塾大学) 岩本綾 (信州大学)、王雪萍 (東京大学) 島田徳子 (武蔵野大学)、古谷知之 (慶應義塾大学)	・方言イメージの形成過程 井筒美津子 (藤女子大学) 井筒勝信 (北海道教育大学)	・語りに立ち現れる「今ここ/過去」の重なり 荻原まき (立教大学)	・在日上海語圏新華僑の言語生活に関する研究 張理理 (慶應義塾大学)
13:00-13:05	開催校ご挨拶〔4号館1階 101教室〕				
13:05-13:25	大会発表賞受賞式〔4号館1階 101教室〕 ・ハビトゥスとしての母語話者・非母語話者2項対立：「英語で授業」の学部における弱者の社会的構築……麻生 卓司 (早稲田大学) ・日本手話の空間表現における視点の選択……高嶋 由布子 (日本学術振興会/東京学芸大学) ・第二言語から第一言語への転移とその原因について—「てもらう」文に対する許容度調査を通して—…尹 テレサ (東京学芸大学)				
13:30-14:30	徳川賞授与式および記念講演〔4号館1階 101教室〕(所属は論文掲載時) <優秀賞> 対面説得事態における対人コミュニケーション・チャネルに関する研究—チャネルの使用とその効果……横山ひとみ、大坊郁夫 (大阪大学) <萌芽賞> 中国貴州省の掛け合い歌「山歌」におけるコードスイッチング—言語交替と文化復興のはざままで—…梶丸岳 (国立民族学博物館)				
14:40-17:40	シンポジウム	〔4号館1階 101教室〕 ・言語的マイノリティーへの情報保障 登壇者：あべやすし (愛知県立大学)、岩田一成 (広島市立大学)、田中英輝 (NHK放送技術研究所)、田中牧郎 (国立国語研究所) 指定討論者：オストハイダ・テーヤ (関西学院大学)、松尾慎 (東京女子大学) 司会：庵功雄 (一橋大学) 企画提案者：森篤嗣 (帝塚山大学)、西尾純二 (大阪府立大学)			
18:00-	懇親会〔4号館1階 レストラン・ラパス〕				

9:30-		3月16日(日)			
		受付〔4号館1階 玄関ホール〕			
10:00-12:30	ポスター	司会：榎本剛士 (金沢大学)、坊農真弓 (国立情報学研究所)〔4号館・2号館2階連絡通路〕 ・話し手による参加者への指さしについて 安井永子 (名古屋大学) ・小説における「ですね」などの相槌の使用開始時期に関する推論 白井勢津子 (青山学院大学) 他 計19件			
13:45-14:15	口頭発表	<セッション5> [4号館3階 301教室] 司会：柳田直美 (一橋大学) ・いじりコミュニケーションを構成するフローについての質的検討と場を構成する人数、関係性についての量的検討 瀧澤純 (首都大学東京) 望月正哉 (日本大学) 澤海崇文 (東京大学) 吉澤英里 (青山学院大学)	<セッション6> [4号館3階 302教室] 司会：竹口智之 (サリン国立総合大学) ・言い淀んだ時の行動 川上ゆか (金沢大学)	<セッション7> [2号館1階 101教室] 司会：阿部新 (名古屋外国語大学) ・初対面会話における「私~思った」発話の二重性行為 張承姫 (関西学院大学)	<セッション8> [2号館2階 201教室] 司会：生天目知美 (東京海洋大学) ・疑問詞「なんで」の相互行為上のはたらき 中村香苗 (淡江大学)
14:20-14:50		・グループホームのカンファレンスにおける理解共有構造の分析 城綾実 (国立情報学研究所)	・対話のインターアクションが談話のアウトプットに与える影響 吉田悦子 (三重大学) 竹井光子 (広島修道大学) 渡辺文生 (山形大学)	・否定疑問文による評価ターン構築の基盤と認識性 杉浦秀行 (茨城大学)	・感動詞とそれに続く発話の音調パターンと発話機能に関する一考察 須藤潤 (同志社大学)
14:55-15:25		・鮭屋における多重的な作業への従事と注文の伺い 平本毅 (京都大学/JST) 山内裕 (京都大学/JST)	・評価発話に対する日本語非母語話者の対処に関する研究 劉礫岩 (滋賀県立大学) 細馬宏通 (滋賀県立大学)	・「の(んですか)」Wh-疑問文による行為の組み立て 黒嶋智美 (明治学院大学) 横森大輔 (日本学術振興会/名古屋大学)	・立命館日本語学習者会話コーパスにみる接触場面における「よね」の機能 大久保加奈子 (京都府立大学)
15:30-16:00		・小学校外国語活動における三者対話の分析 岡本真砂夫 (兵庫教育大学)	・アメリカ英語のgirltalkにおけるアクティブリスニングストラテジー 梅津直子 (青山学院高等部)	・否定疑問形式「動詞+ないか」の使用動機に対する語用論的解釈 馬穎瑞 (北海道大学)	・自然談話における間投用法の終助詞「さ」の機能 丸山理恵 (アリゾナ大学)